

《担当者名》白石 淳 [jun-jun@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

この授業は、高校において授業を展開するために必要な、教育方法、指導技術(話法、板書、学習指導案の作成方法他)等を授業の場面に即して学修する。また、情報機器を活用した効果的な授業や教材の作成・活用、情報モラル教育について、具体的な事例をとおしながら学ぶ。

【学修目標】

授業終了後には次のことができるようになっているはず。また、そうなるように自分からも努力してください。

- (1)今日の高校生に求められている資質・能力を育成するために必要な、教育の方法及び技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を理解できる。
- (2)高校において授業が展開できる力を修得できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	子どもの資質能力を育成するための教育の方法と技術の理解	教育方法と技術を学ぶことの理解 カリキュラムの意味(含コアカリキュラム他) PDCAサイクル	白石
2	授業を構成するため必要な要件と授業の構造(1)	学習指導における要素(教材、学級、生徒、教員、教室) 学習指導案、教育方法・技術、情報機器の活用) 授業に適した方法(集団、個別、教室の配置他)	白石
3	授業を構成するため必要な要件と授業の構造(2)	学習形態、教材 生きる力と教科の目標 教育課程、教科書の構造、教科書と教材の活用 生徒観、教材観、指導観	白石
4	授業における指導技術	話法 板書、ノート指導 発問、指名、机間指導	白石
5	情報機器・教材の活用(1)	情報機器・教材の効果的な教材の作成・提示	白石
6	情報機器・教材の活用(2)	情報機器・教材の指導法の理解(含むモラル教育)	白石 風間直樹(特別講師)
7	学習指導案の作成と指導技術(1)	学習指導案の役割 記載すべき事項 略案の作成方法 教科書の意義・内容	白石
8	学習指導案の作成と指導技術(2)	学習指導案の指導計画 単元の設定・目標 本時の目標の設定	白石
9	学習指導案の作成と指導技術(3)	授業の導入 導入の役割・重要性 導入の工夫	白石
10	学習指導案の作成と指導技術(4)	授業の展開 授業の展開の工夫 展開における指導技術	白石
11	学習指導案の作成と指導技術(5)	授業のまとめ 評価	白石
12	学習指導案の作成と指導技術(6)	アクティブ・ラーニングによる授業展開	白石
13	学習評価の考え方	学習評価の種類 学習評価の観点・方法	白石
14	個別のニーズに関する指導技術	授業を行う際の留意点(教材研究、教育方法・技術他)と指導計画 個別指導計画(目標、教材、授業展開、評価) 学習指導案の作成方法	白石
15	高校で授業を行う上で必要な方法・技術	作成した学習指導案における工夫の発表 自分が考える理想とする授業 授業工夫	白石 北村大器(特別講師)

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

最終レポート(作成した学習指導案(含む略案)提出課題他)による評価 100%

【教科書】

文部科学省「高等学校学習指導要領」(東山書房)

文部科学省「高等学校学習指導要領解説 公民編」(教育出版)

「高校教科書 現代社会」(東京書籍)

「現在社会ワークノート」(東京書籍)

【参考書】

「ICT活用指導ハンドブック」

「評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(高等学校公民)」(教育出版)

【学修の準備】

予習：次回の授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと及び授業終了時に指示する課題を行うこと(80分間)。

「教科用図書の指定箇所を読む」「学習指導要領の指定箇所を読む」「授業の計画を考える」「学習指導案の計画を考えて作成するに関する事項を指示する。

復習：授業で行った教科用図書の箇所を読むこと。授業展開の工夫を考え深めること(80分間)。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教職に関する科目」(教育課程及び指導法に関する科目)の「教育の方法及び技術(情報機器及び器材の活用を含む。)」に該当する。2019年度入学生からは「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の「教育の方法及び技術(情報機器及び器材の活用を含む。)」に該当する。

【実務経験】

高等学校教諭

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校教諭としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な内容を含みながら講義を行う。